

国際交流や体験事業、まちづくり会議等に参加した三芳町在住の中学生29人が町長と座談会を実施。昨年の貴重な経験を振り返り、未来に向けて抱負を話しました。

その経験が、 未来をつくる。

■町長：明けておめでとうございます。皆さんとお話できることを楽しみにしていました。昨年の経験を通して何を感じ、どんな思いが生まれたのか、ぜひ聞かせてください。

① 防災キャンプ 子どもまちづくり事業補助金（以下「防災キャンプ」）：災害時に避難所になる学校で避難生活を体験するイベントを主催しました。実際にやってみないと分からない気づきがありました。

■町長：子どもが主体となって取り組むまちづくりを応援する「子どもまちづくり事業補助金」の第二回目の事業でした。令和6年、三芳は県内で初めてユニセフが推薦する「子どもにやさしいまちづくり事業（CEC）」の候補自治体になり、昨年は「子どもにやさしいまちづくり宣言」もしたんですね。

② 子どもまちづくり会議（以下「子ども会議」）：町内の小学生と私たち中

学生が集まって「こういう町に住みたいよね」という意見を出して議論し、宣言をまとめました。

小中学生で環境が違つからこそ、互いには無い新しい視点があったので、これからもっといろんな人に参加してほしいです。

■町長：意見の違いや色々な人に出会う良さを感じたんですね。海外派遣のみなさんはどうですか。

③ オーストラリア親善大使海外派遣事業（以下「オーストラリア派遣」）：オーストラリアは色々な国の人に住んでいるので、文化の違いを知ることができました。また、多くの交流の中で言葉の壁を越えて心で分かり合うという、貴重な経験ができました。

④ マレーシア海外派遣（以下「マレーシア派遣」）：言葉や文化の違いに不安はありましたが、直接会って話すことで一気に距離が縮まって、言葉が完璧じゃなくても、気持ちは伝わると感じました。

■町長：不安や壁にぶつかりながらも、自分から関わろうとした経験が、皆さんを一回り大きくしてくれたんだと思います。この経験はゴールではなく、これからの学びや挑戦へのスタートですね。

Happy New Year! /



三芳町長
林 伊佐雄

令和7年 子どもまちづくり会議

子どもの意見を町の政策に活かす取り組みとして実施。宣言文の作成やプレーパーク体験を通じ、子どもにやさしいまちづくりについて話し合いました。

チャレンジアドベンチャー 富士登山体験交流事業

自治体間連携事業として富士登山交流に参加。登山や交流を通じ、日本の登山文化や各地の歴史・風土を学び、全国の仲間との絆を深めました。

マレーシア 海外派遣事業

姉妹都市ペタリングジャヤ市主催の交流事業に参加。多国籍の学生との交流や異文化体験を通じ、国際理解と次世代リーダーとしての視野を広げました。

オーストラリア親善大使 海外派遣事業

クイーンズランド州政府教育省主催のスタディツアーに参加。現地校での授業体験やホームステイを通じ、国際理解と国際感覚を育みました。

戦後80年広島平和記念 式典派遣事業

戦後80年の節目に広島平和記念式典へ参列。平和記念資料館見学や被爆体験の講話を通じ、戦争の悲惨さと非核平和の大切さを学びました。

防災キャンプ 子どもまちづくり事業補助金

中学生が主体となり、体育館を避難所に見立てた防災キャンプを実施。地域防災意識の向上と、新たな避難所運営の視点につながりました。